

オーストラリアの心理学について

中 村 昭 之
(駒沢大学)

オーストラリアの心理学は日本ではあまり知られていないのが実状ではないかと思われる。筆者は昨年9月以来オーストラリアに住み、オーストラリアの心理学に触れる機会があったので、オーストラリアの心理学者の活動の一面について紹介したい。

オーストラリアの心理学について語るときまずオーストラリアのほとんどの心理学者が加入していると言われる The Australian Psychological Society (APS) について語るのが本筋であろう。APS は、日本でいえば日本心理学会に相当するものであるが、それよりも、もっと大きく、影響力のある組織であるように思われる。会長の Dr. Suzan Kelly は1993年、第28回オーストラリア心理学会の会長挨拶において、"The Australian Psychological Association... has over 7,000 members, an annual budget of over a million dollars and the primary national responsibility for advancing and promoting a profession and its member." と述べているように、APS は現在、会員数7000人以上、年間予算百万ドル以上の組織である。元来オーストラリアの心理学者は英国心理学会の会員であったが、1945年英国心理学会のオーストラリア支部を結成し、1965年にはその英国心理学会からも独立して APS が誕生したのである。

APS の会員は4つの階級がある。すなはち、Honorary Fellows, Fellows, Members そして Associate Members である。これとは別に外国人会員、学生会員がある。Associate Member は、APS 公認の施設において4年間の心理学の訓練を受けねばならない。すなはち、正会員になるには(1) university の心理学科を卒業して、2年間の心理学者としての公認のスーパービジョンをうけるか、もしくは(2) APS公認の施設において4年間の心理学の訓練プラス2年間の心理学者としての公認のスー

パービジョンをうけるかである

APS は研究部門と専門的部門に分かれていて、後者には、臨床神経心理学、教育と発達心理学、臨床心理学、カウンセリング心理学、催眠心理学、職業心理学、社会心理学、コミュニケーター心理学、法心理学等の各分野がそれぞれ支部を結成している。

APS は次の3つの Journal を発行している。それらは、

Australian Journal of Psychology.

Australian Psychologist.

Bulletin of the Australian Psychological Society. である。

また、各分野の支部は、それぞれ、Journal か、または News letter を発行している。APS が主催するオーストラリア心理学会は、例年9月末から10月の始めにかけて5—6日間ぶつ続けで開催される。1993年第28回大会は9月28日より10月2日までゴールド・コーストで開催された。発表の形式は、ペーパー・セッション、シンポジウム、ワークショップからなっている。個人発表は全てペーパー・セッションにおいて行われる。各分野毎のシンポジウムがあり、これを中心にして学会が進行している感じがする。オーストラリアの心理学会の現状を知る一助になるかもしれないとおもい、煩をいとわず、各分野のシンポジウムのテーマ(各テーマの下3—4人シンポジストが配置される)を以下に紹介する。(サブテーマは2—3を除いて省略した)

Approaches to neuropsychological assessment. Anxiety research. Psychology and aging. Qualitative research in sport psychology. Topical issues in selection. Feminism and psychology. Committee on ethical and professional standards exploring current issues in confidentiality. The scientist practitioner model. Aboriginal Australians

and psychologists. Casework in counselling psychology. Early intervention and preventive applications of clinical psychology. Some key human resource issues in organizations today. Interest group in health psychology: psycho-social aspects of health treatment utilization. The wide world of sport Psychology. Contemporary issues in the psychology of adolescence. Current development in psychological testing. Programmatic research in counselling psychology. Forensic psychology in Australia. The psychological assessment and evaluation of gifted/talented students. Adolescent coping in the Australian context. Integrating therapies. New directions in behavioural family intervention with children. Ecopsychology: prospects for more environmental psychology Management: lessons learnt (この中に自然災害や道路上の重大事故の心理学的問題が取り扱われている)

Integrating eastern therapies: the influence of eastern thought and practice in Australian psychology.

つぎに、シドニー市にある University of Sydney の心理学科と Macquarie University の心理学科を簡単に素描してみよう。The University of Sydney は1850年創立されたオーストラリアでは最も古い大学である。そしてまた、オーストラリアで最初の独立の心理学科ができた (1929) のは、この University of Sydney においてである。正門を入ると時計台のある広い中庭を持つ堂々たる MAIN QUADRANGLE が創立当時そのままに残っている。心理学科の学部学生数は2610人である。とにかくオーストラリアの大学の心理学科は何処も日本に較べて規模が大きいと言う感じがする。それは、心理学科をもっている University や College の数が全体として少ないからかもしれない。staff は、Professor 1, Reader (lecturer と professor の間の助教授) 4, Associate Professor 1, Senior Lecturer 20, Lecturer 4, Associate Lecturer 18, これだけで48名になるが、full time academic staff は38名ということであった。勿論これ以外に Honorary Clinical Supervisors と呼ばれている非常勤もたくさんいる。学部学生のためのパンフレットには次のように記載してある。“専

門の心理学者になるには心理学者登録委員会 (Psychologist Registration Board) の要望を満たせねばならない。それはこの心理学科の第3年次までの単位を修了 (Bachelor' degree) 後 Honours degree (自分自身で行う research が中心) を修了するか、Master of Arts in Psychology を修了する事によってその資格が得られる。登録された心理学者は現在、個人開業、公共サービス、学校などの施設、産業やスポーツ等の分野で職が得られる。われわれのカリキュラムは、海外においてもそのレベルは承認されると思う”。カリキュラムは Psychology (1), Psychology (2), Psychology (3), Psychology (4) (Honours) (いずれも Semester (1), Semester (2) にわかれていて、それぞれ履修科目が異なる) から構成されている。前述した、APS の member になるために必要な、Psychology (4) (Honours) の科目の内容を見てみよう。(a) 実験的研究のレポート (b) 理論的問題に関するレポート。以下から1講義、(A) General Psychology, (B) Method 1: Data Analysis. (B) Method 2: Psychological Scaling. (c) 以下の科目から二つのセミナーを選択する; Abnormal. Cognitive Process. Developmental. Individual Differences. Learning. Motivation/ Human Performance. Perception. Psychobiology. Psycholinguistics. Psychological Measurement. Social Psychology. Theory and Systems.

Macquarie University は1967年に創立された新しい大学である。それはシドニー市の北西約18キロ、緑に囲まれた地域に位置する。この地域は North Sydney と呼ばれ、大部分の日本企業があり、そして多くの日本人が居住する地域でもある。この大学は学生総数約16,000、経済学、行動科学、教育学、工学等で知られている。行動科学部 (School of Behaviour Sciences) は、Department of Anthropology, Department of Sociology, Department of Psychology からなっている。

行動科学部全体の staff の構成からみてみよう。Anthropology は、Professor 3, Senior Lecturer 6, Lecturer 1, Sociology は Professor 1, Associate Professor 2, Senior Lecturer 5, Lecturer 1, Psychology は Professor 1, Associate Professor 4, Senior Lecturer 13, Lecturer 11, Staff は Anthropology は計 10, Sociology は計 9, Psycho-

logyは計29である。心理学科の学生数は、大学院後期課程51, 大学院前期課程215, 学部学生1196, 大学院と学部学生の総数は計1462名である。ここでは大学院についてみる事にしよう。大学院前期課程は、Master of Applied Psychology, Master of Arts (M. A.) (in Clinical Drug Dependence), M. A. (in Counselling), M. A. (in school Counselling), M. A. (in Clinical Psychology), Master of Science (in Clinical Neuropsychology)等から構成されている。この中でMaster of Applied PsychologyとM. A. in Counsellingについてみてみよう。Master of Applied Psychologyの出願資格は、APSが承認する心理学専攻の第3学年修了またはこれと同等の資格を持つもの。平均の学業成績。心理学の職場での経験等が考慮される。期間は2年間で、part time (仕事等についていてfull timeに学校に来なくてもよい)に出席できる。このコースは、心理学の現場で働いているものまたは働きたい者の為につくられたもので、New South Wales州の心理学者登録委員会は、このコースは心理学の第4学年に相当するとみている。第1学年で研究計画による研究(1年間, 1単位)プラス以下の科目から2単位習得。第2学年は、以下の科目から3単位習得。(以下の科目はいずれも前期で修了する。後期に他の科目を習得できる。)

1. Psychological Aspects of Alcohol and other Drug Use.
 2. Health Psychology, A : Psychology of Sexuality.
 3. Child abuse and Neglect
 4. Practicum
 5. Applied Cognition and Perception
 6. Neuropsychology
 7. Classification of Psychological Disorders
 8. Health Psychology, B
 9. Groups
 10. Organizational/Industrial Psychology
- 次に Master of Arts (in Counselling) について

みてみよう。

応募資格はAPSが承認する心理学のBachelorの資格を持つ者。

期間は3年間, parttime (各週2日半と何回かeveningに出席することが義務づけられる。)このコースで得られる資格はAPSの準会員で、NSWの心理学者登録委員会は心理学専攻の第4年か第5年に相当すると見ている。正規の資格を得るにはこれとは別に、APS公認のスーパーヴァイザーの下で3年間professional experienceを得る事が必要でそれは学内では得られないと、念が押されている。

以下は履修科目である。

第1学年

1. Counselling Theory.
2. Counselling Practice.
3. Psychopathology.
4. Classification and Psychopathology.
5. Professional Practice (1).
6. Research Design.

第2学年

7. Group Dynamics Theory and Practice.
8. Psychological Assessment.
9. Behaviour Theory and Therapy.
10. Psychotherapy.
11. Professional Practice (2).

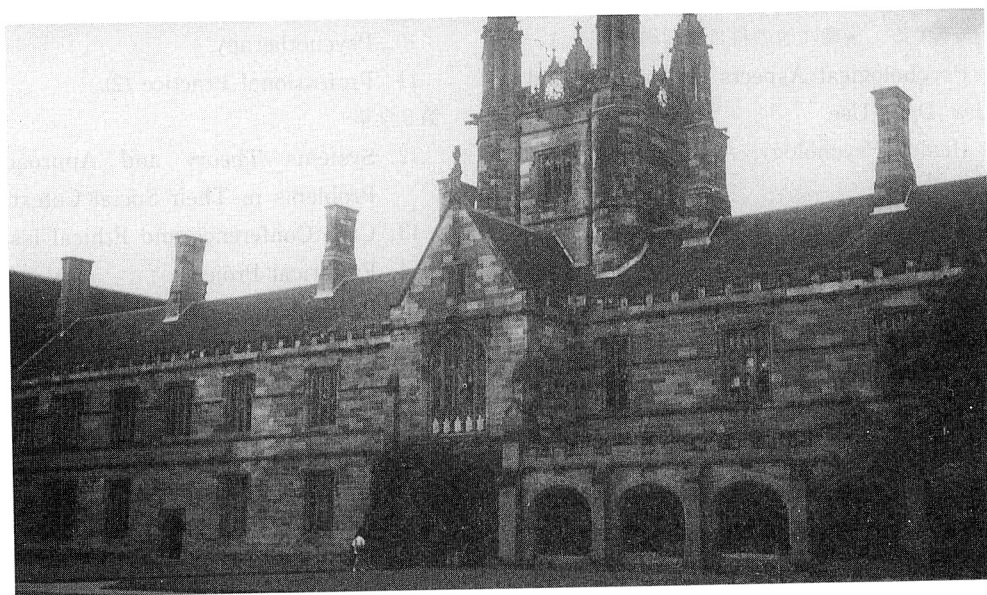
第3学年

12. Systems Theory and Approach to Problems in Their Social Context.
13. Case Conference and Ethical Issue.
14. Empirical Project.
15. Professional Practice (3).

オーストラリアの心理学者の資格制度は英国のそれに類似しているといわれる。しかしそれについては、さらに詳しく検討する必要がある。とにかくProfessional Psychologistsの社会的地位も評価も高いように思われる。



Macquarie 大学構内のたたずまい



Sydney 大学のシンボル Main Quadrangle